

NPO法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクト
令和元年（2019年）度 事業活動報告

1. 概況

NPO法人結成初年度である本年度の最大の課題は、「農家民宿」開業の態勢整備であったが、そのための金平家改修工事も無事完了し、心配された資金調達も計画通りに進めることが出来た。計画通り「旅館業法営業許可」も得られ、計画通り開業できたことは本年度の大きな成果である。広報活動が功を奏し、町内外での知名度もアップし、今後の活動が期待されている。

2. 金平家の「農家民宿」用改修工事の実施

調理場改修、土間の食堂兼交流スペース化、トイレ・風呂・調理場等の排水下水道化を中心とする工事を、計画通りの期間と予算額で実施した。2019.7.22 成美神社の神主さんによる安全祈願祭を執り行い着手し、無事工事は2019年内に完了した。国の登録有形文化財に相応しい雰囲気と斬新さを併せ持った改修が出来たと自己評価する。改修後「旅館業営業（簡易宿所営業）許可」を得て、3月29日に「農家民宿」を開業した。

3. 「農家民宿」用改修工事費用調達のための諸施策の実施

(1) 鳥取県・琴浦町補助金の交付による調達

「令和元年度琴浦町古民家を活用した魅力ある民泊事業補助金」を3年越しで準備し、上記改修工事を目的に無事300万円の交付を受けた。

(2) クラウドファンディング（CF）による調達

準備に手間取り計画より3カ月遅れとなり、業者としてReadyforを選び、後に述べるGCFとの関係もあって、公募期間も短縮し、目標金額を実力相応に200万円から150万円に減額し、実施した。その結果、目標を無事達成した。実施例が近隣になく情報不足の上、初経験であり担当者の苦労はあったが、この経験は、次いで実施したGCFに大いに役立った。

(3) 琴浦町「令和元年度ふるさと未来夢応援補助金」による調達

ふるさと納税の仕組みを応用した掲記補助金制度があることを本期になって知り、これに応募し、採択された。行政によるガバメントクラウドファンディング（GCF）により得られた支援金を補助金として交付するというものである。このGCFを上記CFに引き続き実施し、年末・年始を含む2カ月半の公募期間を経て、終了した。手数料を引いた154万円が補助金として交付された。

(4) 寄付による資金調達の実施

改修工事費用と開業準備費用調達のため、NPO法人固有の資金調達方法として10月から3月までの半年間公募した。計画目標額は100万円としたが、「農家民宿」の宿の所有者(金平氏)による特別寄付500万円を加えて、約600万円支援金が集まり、目標を達成した。

4. 初年度ならでのイベント開催

(1) 土間の「三和土仕上げ」ワークショップ開催(2019.10.27)

日本の伝統的「三和土仕上げ」は、コンクリートに押されて今では殆ど眼にすることはなくなった。登録有形文化財に相応しい土間の仕上げ方法として、当初の計画通り採用した。人力で踏み固めるのがよいことから大勢の方々に参加して頂きたく公募し、60名の参加があり、作業は順調に進んだ。昼食には大鍋でカレーライスを振る舞い盛況だった。その様子は地元ケーブルテレビTCCで放映された。

(2) 「改修工事」完了内覧会の開催(2019.12.7)

「農家民宿」用の改修工事がほとんど済んだので、内覧会を開催し、地域の方々に披露すると同時に、工事を請負った(株)創伸北村社長に改修工事の意図や苦勞したことなどを語って貰った。いのししの肉が手に入ったので、ぼたん鍋を作り皆で舌鼓を打った。

参加者 33名。

(3) 「農家民宿」開業内祝い会の開催(2020.3.29)

今年度内に「農家民宿」を開業する計画通り、3月29日に開業し、内祝い会を開催した。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の見地から、開催を危ぶんだが、感染環境となる“3密状態”を避けることが出来ると判断し、NPO会員と近隣立子谷住民及び特にお世話になった方々に絞ってご案内し、開催した。晴れの日にふさわしい杵と臼での餅つきとぼたん汁とで、開業に向けて力を合わせて進むことを確認した。参加38名。

5. 体験等の構想事業についての取り組み開始

(1) 地元立子谷ぶらぶら歩き

NPO会員が地元立子谷を知ることが大事だと、会員6名が水月堂・城山・黒川沿いに志古谷堤までの約5kmを周囲の風景を見ながらぶらぶら歩きをした(2019.4.19)。

(2) 農業体験の代表格「田植え」実施

例年もち米を作っている足立収一さん田圃において、手植えの「田植え」をモデル的に実施した。参加者10名。(2019.5.26)

(3) 「金平家住宅維持管理事業」の一環として、茅刈・結束作業の実施

金平家では茅屋根用に船上山麓の耕作放棄地に自生する茅を10年近く刈り続けている。NPO会員中心に2019.11.30(7名参加)と12.1(8名参加)の2日間茅刈と結束作業を

実施した。約200束の出来。手慣れた方が多いせいか例年より綺麗な仕上がりがだった。

(4) 調理体験メニュー予行演習の実施

宿泊者が担当者と一緒に調理して食事する構想に対して、いきなり本番を迎えるには不安があるとの指摘があり、夕食用に想定される原価による食材を用いて、3名が客となり5名が担当し、2020.3.22 調理を実施した。美味しく頂けたと評価は良好だった。担当者の不安解消に役立った。

(5) 自然栽培体験菜園の整備

体験事業の一環として、金平氏所有の休眠畑を自然栽培の体験菜園としてNPOが整備し、管理する構想を進めることとし、草刈等の整備を開始した。2020.2.11 6名参加。2020.3.24 4名参加。

6. その他 懸案事項、課題に対する進捗

(1) 会員（正会員・賛助会員）の拡充

正会員13名でスタートし、徐々に会員拡大し、2020.3.31 現在、正会員41名、賛助会員15名計56名となった。計画としては正会員15名、賛助会員20名計35名であり、予想以上の拡大である。本NPO法人へ期待する人が結構おられるということである。しかしながら、地元住民が少ないこと、自発的に活動する人が少ないこと、若い人が少ないことなど課題を内在している。

(2) 実行できる体験メニューの品ぞろえについて

現在ホームページやパンフレットに記載し実行できる体験メニューが殆どなく、当面の大きな課題である。新型コロナウイルス感染症騒動が収まる前に戦列に加える具体的なメニューを増やす必要がある。

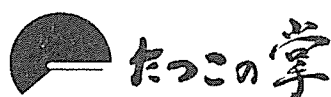
(3) 広報・宣伝活動

地元地方紙「日本海新聞」や地元ケーブルテレビTCCでしばしば取り上げられたことやFBやHPの動画を見た人も多く、地域での“立子谷”の知名度アップに貢献した。

「農家民宿」開業に当たって、宿の名前（屋号）をつける必要がある。飽きのこない魅力的な案が会員から出てこなかったため、ロゴマークと合わせて専門家に命名を依頼した。それぞれ3つの候補を挙げてもらい、理事会で次のように決定した。

屋号：たつこの掌（読み名：たつこのしょう）

ロゴ・マーク：



(4) 情報管理について

「農家民宿」事業の宣伝・情報提供の第一のツールはホーム・ページ（HP）であろうが、現在タイムリーな情報提供が出来ていない。新型コロナウイルス感染症騒動が収まる前に抜本的見直しが必要である。例えば、専門家あるいは団体に有償依頼し、月1，2回定期的に更新するなどの検討がある。

以上

財 産 目 録

npo法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクト

[税込] (単位:円)

2020年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

普通 預金

1,186,309

現金・預金 計

1,186,309 ✓

流動資産合計

1,186,309

【固定資産】

(有形固定資産)

構 築 物

5,466,001

什器 備品

179,489

有形固定資産 計

5,645,490 ✓

(無形固定資産)

ソフトウェア

492,400

無形固定資産 計

492,400 ✓

固定資産合計

6,137,890 ✓

資産合計

7,324,199

《負債の部》

【流動負債】

流動負債合計

0

負債合計

0

正味財産

7,324,199 ✓

貸借対照表

npo法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクト

[税込] (単位:円)

2020年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

普通 預金

1,186,309

現金・預金 計

1,186,309

流動資産合計

1,186,309

【固定資産】

(有形固定資産)

構 築 物

5,466,001

什器 備品

179,489

有形固定資産 計

5,645,490

(無形固定資産)

ソフトウェア

492,400

無形固定資産 計

492,400

固定資産合計

6,137,890

資産合計

7,324,199

《負債の部》

【流動負債】

流動負債合計

0

負債合計

0

《正味財産の部》

前期繰越正味財産

0

当期正味財産増減額

7,324,199

正味財産合計

7,324,199

負債及び正味財産合計

7,324,199

活動計算書

[税込] (単位:円)

npo法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクト

自 2019年 4月 8日 至 2020年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	016/ 123,000	
賛助会員受取会費	<u>30,000</u>	153,000 ✓

【受取寄付金】

受取寄付金	6008.	<u>7,540,092</u>	
経常収益 計			7,693,092

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

人件費計	<u>0</u>	
------	----------	--

(その他経費)

研修費	6,473 ✓	
支払手数料(事業)	<u>22,000</u>	
その他経費計	<u>28,473</u> ✓	28,473 ✓
事業費 計		

【管理費】

(人件費)

人件費計	<u>0</u>	
------	----------	--

(その他経費)

通信運搬費	82,642	
消耗品費	55,591	
広告宣伝費	176,628	
諸会費	3,000	
租税公課	5,000	
支払手数料	4,733	
雑費	<u>12,826</u>	
その他経費計	<u>340,420</u> ✓	340,420 ✓
管理費 計		

経常費用 計	<u>368,893</u> ✓	
当期経常増減額		7,324,199

【経常外収益】

経常外収益 計	0
---------	---

【経常外費用】

経常外費用 計	<u>0</u>
---------	----------

税引前当期正味財産増減額	<u>7,324,199</u>
--------------	------------------

当期正味財産増減額	7,324,199
-----------	-----------

前期繰越正味財産額	<u>0</u>
-----------	----------

次期繰越正味財産額	<u>7,324,199</u>
-----------	------------------

2/17

役員名簿

平成31年4月8日から令和2年3月31日

特定非営利活動法人

琴浦立子谷ふるさとプロジェクト

役名	氏名	住所又は居所	報酬の有無
理事	北野 博堂 /		「無」
同	足立 康一 /		「無」
同	足立 浩基 /		「無」
同	大石 陽一郎 /		「無」
同	金平 坦 /		「無」
監事	山崎 昭壽 /		「無」

理事5人 監事1人 OK

(備考)

- 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 「報酬の有無」の欄には、定款の定めに従い報酬を受ける役員には「有」、報酬を受けない役員には「無」を記入する。

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人

琴浦立子谷ふるさとプロジェクト

氏 名	住 所 又 は 居 所
足立 康一 / 足立 浩基 / 大石 久司 / 大石 陽一郎 / 金平 坦 / 北野 博堂 / 浪花 昭彦 / 福井 道子 / 藤井 幹裕 / 山崎 昭壽 / 山崎 正道 / 渡辺 さち子 /	

10%以上 0人

(備考)

- 1 法人等が社員となる場合は、団体名と併せて代表者氏名を記載する。
- 2 10人以上であれば社員全員を記載する必要はない。